授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
精神看護学実習	3年次	前期	2	80	有

科目責任者	野村美穂
目的	臨地において精神の健康にかかわる職種と活動内容について見学や実践を通し考察する。また、精神の病気を持っている人々とのプロセスレコードから自己の関わり方を洞察し、自己の関係能力の特徴を把握し、今後の留意点について提示する。
目標	1. 生活訓練施設に通所する人々またはグループホームで生活している人々の活動内容を把握し、その意義・役割について考察できる。 2. 精神関連施設を利用している人々を支えている法律と実践を結びつけソーシャルサポートについて理解できる。 3. 患者の病期、治療がどの段階にあるかを知り、観察し言動や行動をありのままに捉え、精神状態のアセスメントができる。 4. 病棟の看護目標に基づき、看護実践が理解できる。 5. 患者の個別性に応じたコミュニケーションをとることができる。 6. プロセスレコードを記述し、自己を洞察できる。 7. 患者の人権擁護を、患者を取り巻く環境の側面から考察できる。 8. 患者に倫理態度で接することができる。

内容

日	内容
1	学内オリエンテーション（現地見学）
2	病棟オリエンテーション（病棟の構造、患者の特徴、看護の特徴） 受け持ち患者の決定・挨拶・コミュニケーション・情報収集
3	学内演習　文献の活用
4	プロセスレコードの指導
5	中間カンファレンス（看護実践の方向性）
6	病棟の患者目標に基づく看護実践・評価・修正
7	障害者福祉サービスの見学 対象者とのコミュニケーション
8	
9	病棟の患者目標に基づく看護実践・評価・修正
10	最終カンファレンス 最終評価面接

履修条件	1・2年次すべての単位を修得していること
評価方法・基準	実習要綱に準ずる